

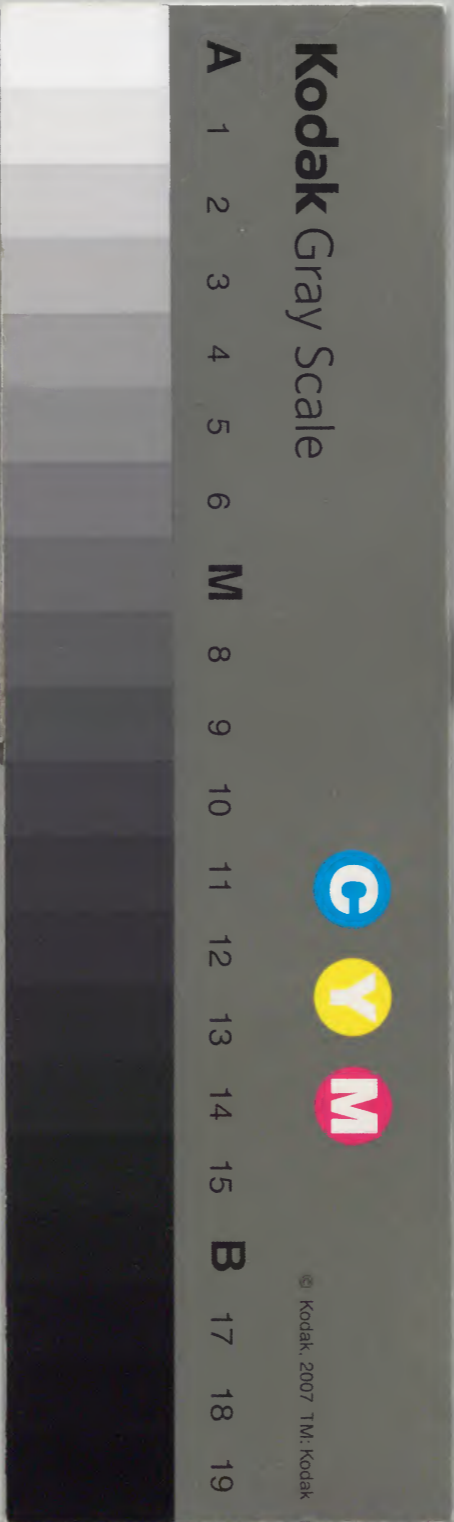
唐土訓蒙圖彙

器用
九

和書門		
一八六三號	一八二函	一五冊
類		

庫	文	閣	內
一八四函	一八三函	一五冊	一三七號
架			類
和書			

內閣文庫	
番號	和 18637
冊數	15 (10)
函號	184 359



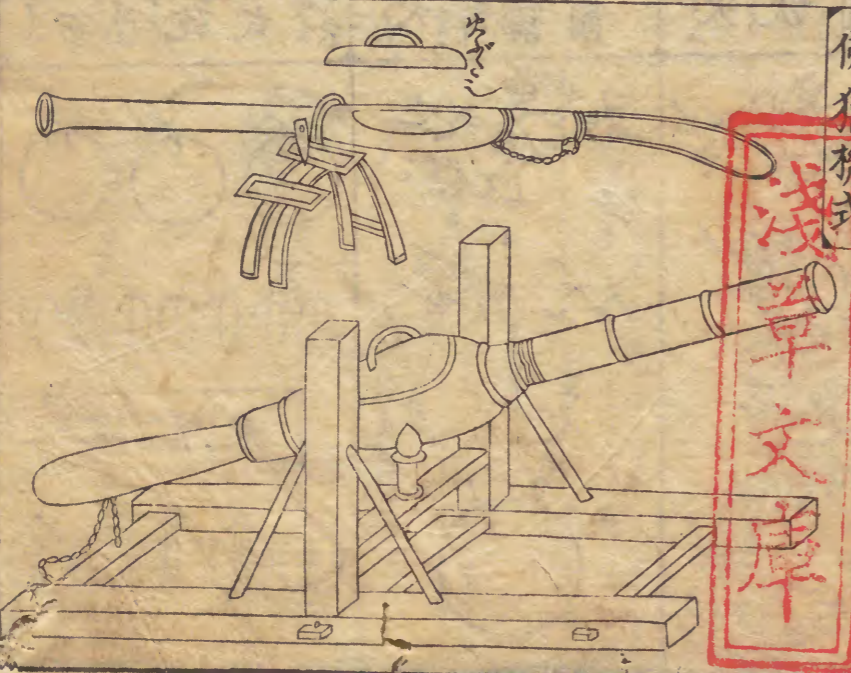
日占圖

非藏

此器重五百斤鉛子之數百と空あり石も彈也和の火矢凡大筒と也攻敵と利器也

唐土訓蒙圖彙卷之九

器用之三



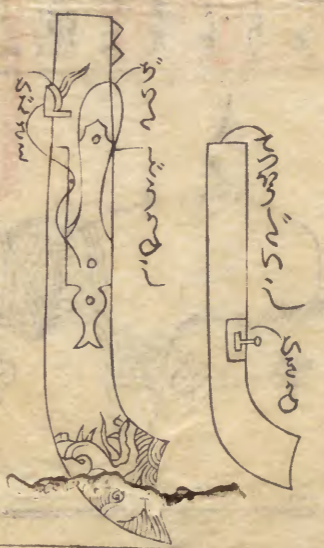
佛狼機式 淺草文庫

唐土訓蒙圖彙卷之九

鳥嘴銃



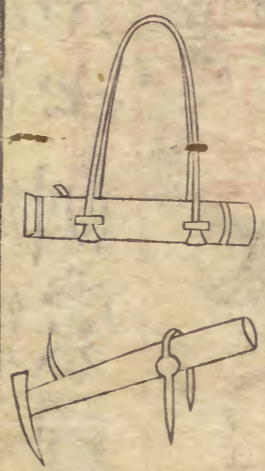
式細銃



炮母仔

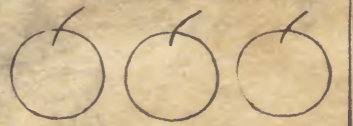


蜂窩

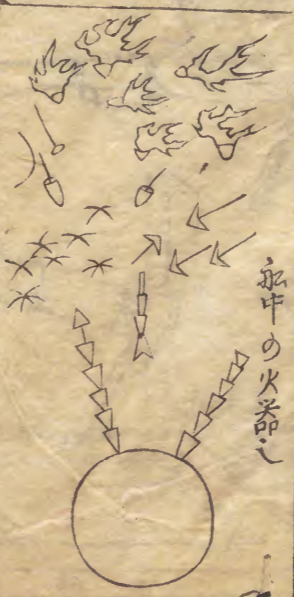


月二言...

式砲墜天



圖窠蜂大



式圖妖火



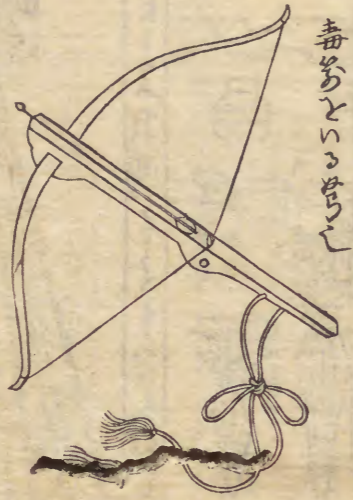
式雷地



飛天噴筒



箭藥廣兩

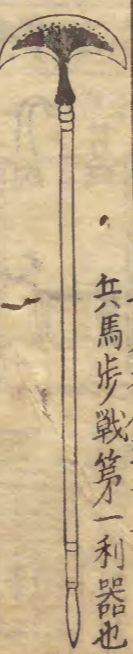


脚杖圖



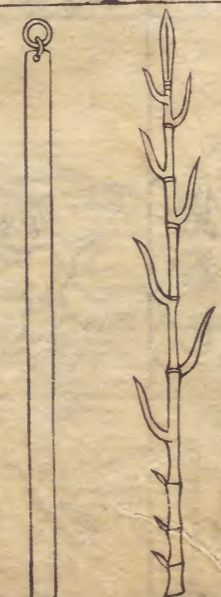
竹の杖四寸二六分なり
或ハ圓板一代てしらの
此間に姓名とあるは
某哨某隊某甲兵某

天蓬鏢式



内外皆鋒刀横長二尺柄
長八九尺或一丈
兵馬歩戰第一利器也

式棍



鉤竿

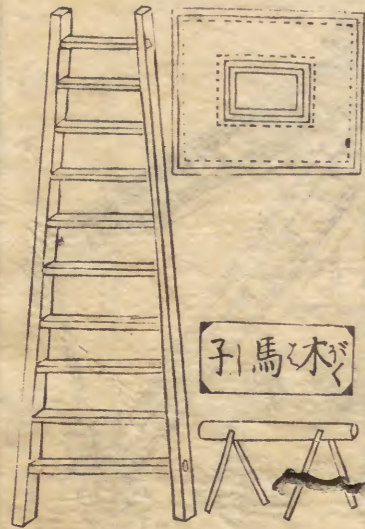


斧子

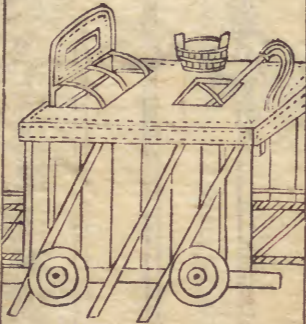


某哨某隊某甲兵某

梯車頭上 籠風屏 具世城 車頭 器用 城と 道地



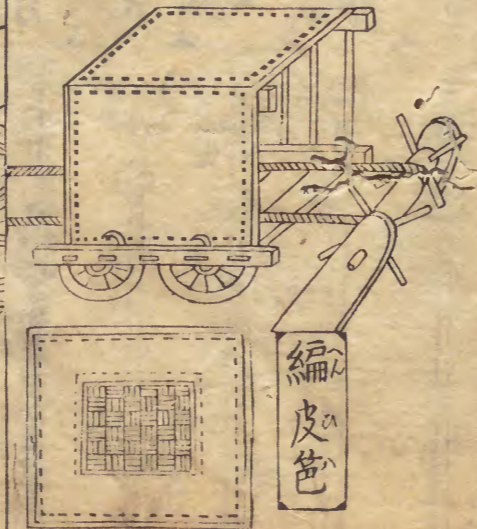
子馬木



わし用と橋 橋壕



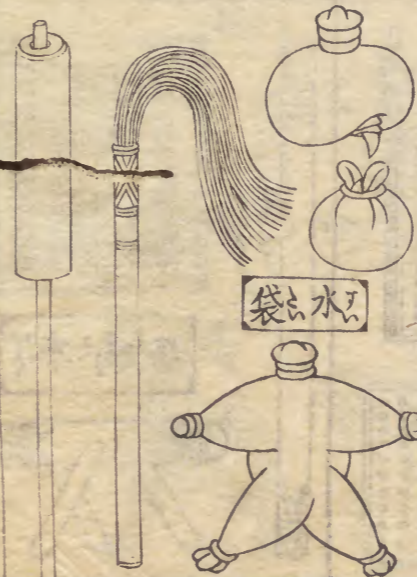
棚緒搭掛



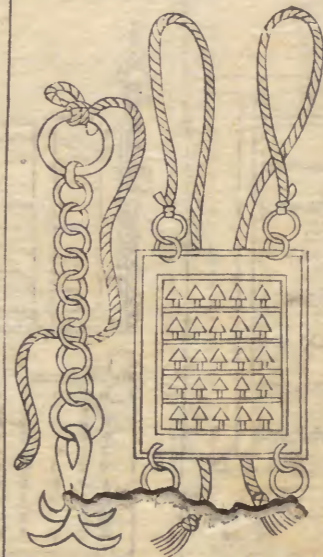
編皮籠

筒 唎 搭 麻 囊 氷 鉤 飛 拍 牙 狼 播 塙

みの三品火とまろ具なり



袋水

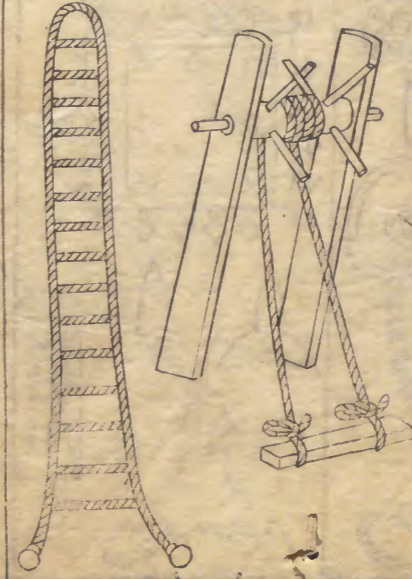
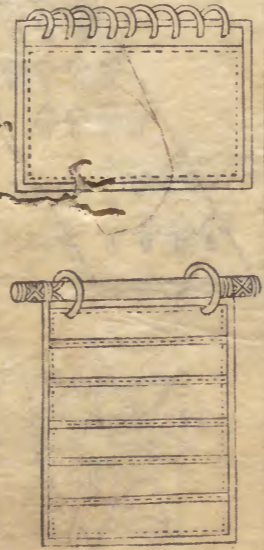


播泥

播脚車

簾種 簾波 梯繩 車絞 城下

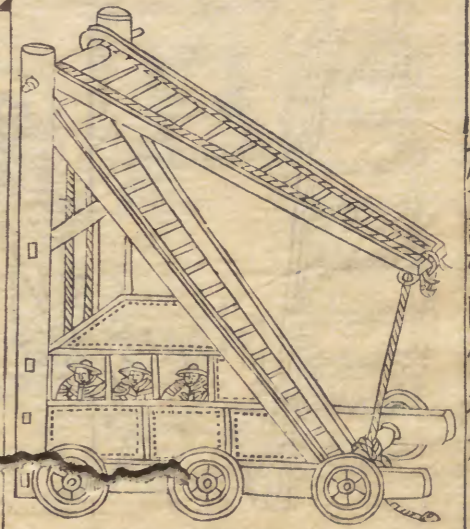
土色小して洞家と蔽ひ兵とかくし敵の地と攻うさ出てふせくものなり



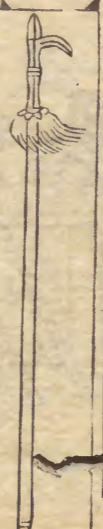
木撞鐵

唐土訓蒙圖彙卷九

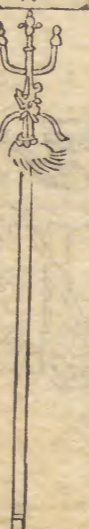
雲梯
くもの
はし
飛梯
この數
階頭



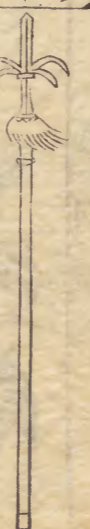
鉤鎌



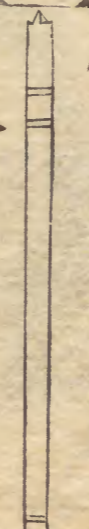
鉄骨朵



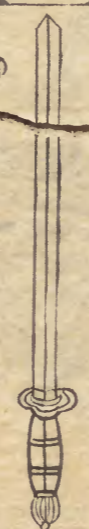
留客住



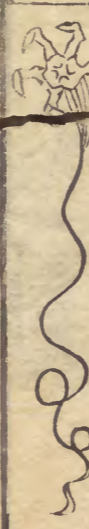
請人技



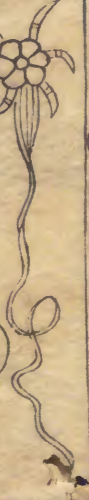
鑑



龍叱



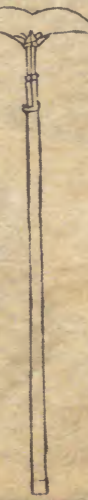
梅叱



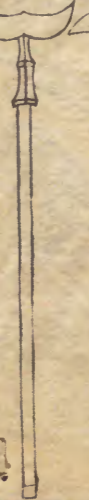
星鑑



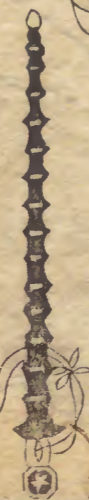
内月牙



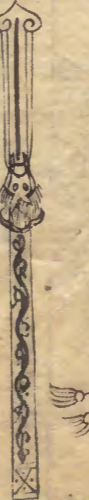
外月牙



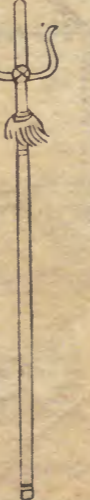
鋼鞭



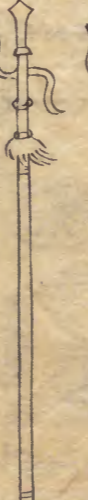
二節刀



文又



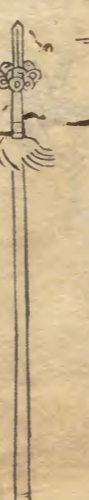
武又



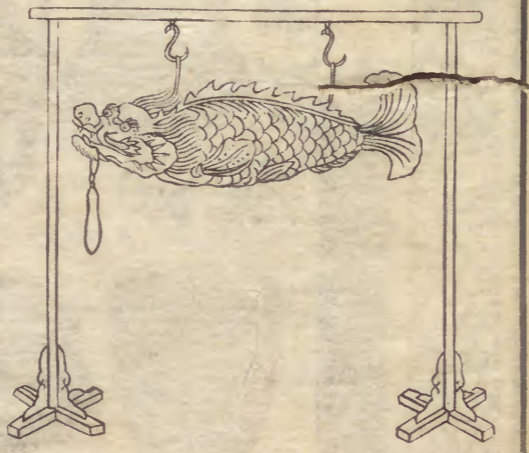
銅拳



柁結



柳
柳ハ昂ら
柁易日
重門撃柝
以待暴客
と云ふ也
柝ハ木
と較て更
籌と云ふ
者も同



典鐘

唐六典皆
鐘を撃
大史門イ
典鐘あり
二百八十
撃鐘編鐘
と掌云
り云れ
○柳典
陸ハ刻と
うりの具
ケリ必衣
氏の具
ヲ非す



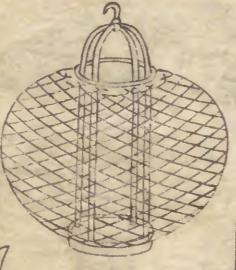
旋
木ノ
同
上
カ
シ



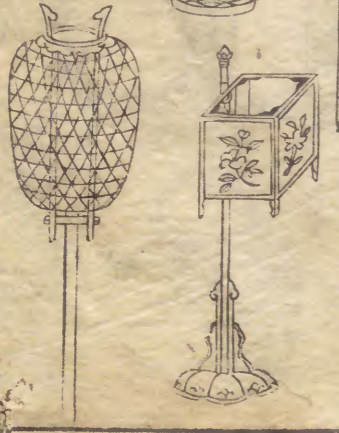
書燈



葛灯
竹籠



日灯





桑梯そうてい



登蠶織類とせいのり
桑几そうぎ



桑のこぼし
しりて
ふく

桑網そうあみ 切刀せつぼう 籠かご 桑そう 鉤かぎ 斧きりぎりす 斫う



桑糸そういと
さじ
か

くらの枝とつね
しりて
具

桑の枝とつね
斧

桑糸
さじ
か

帳床ちやうど



唐七言詩圖屏風卷九

倒甕氣たうぼうき

一名海水精
和名いびい
どろろとみ
とてつら
北条上
水とて更
とんを付
硝子しょうし
別ゆりべつゆり
佛郎瓷ぶつらうしん
和名いぶと



鏡里千きやうりせん

貝光祿かいこうろく



標將軍ひょうかみ
しりて



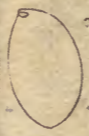
偏提へんてい
茶瓶



臺盤たいばん



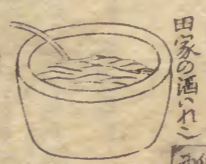
酒旗しゆき



鑊か



盆瓦老ぼんわらう



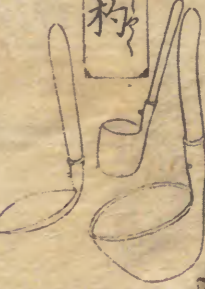
田家の酒でんかのしゆ
瓢杯ひょうはい



大極尊たいごくそん



葫蘆樽ころうそん



銅杓どうしやく

蠶楯

楯へ植へしあひなをいそぐと
さつらなり

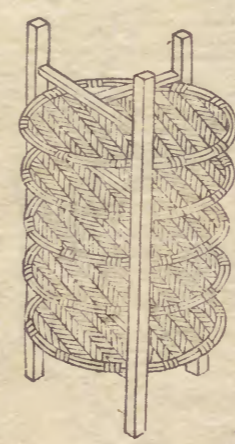


唐土訓蒙圖景卷九

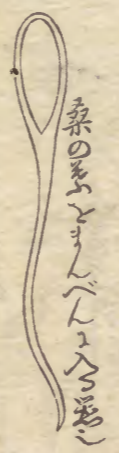
蠶楯椽

蠶楯の椽は泊と架は長一丈二尺
蠶と三月する器なり

蠶楯筐



蠶楯杓



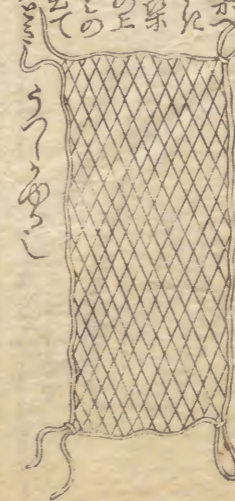
蠶楯架

蠶楯網

蠶楯ヲ別架
うつて置るは
何れ網を
と入て楯の上
に置るは
わたり上りて
まよとさる

蠶楯箔

蠶楯の中
同く置く
長七尺廣さ
五尺なり



蠶楯
箔
網
架

蠶籠

籠とては
うつて作
葉とて
楯の葉と
を後へ
一重と
十竹に
二重と
封して七
日以内
に置く



蠶籠

蠶籠は
高柄
葉とて
楯の葉と
を後へ
一重と
十竹に
二重と
封して七
日以内
に置く



蠶籠

蠶籠は
葉とて
楯の葉と
を後へ
一重と
十竹に
二重と
封して七
日以内
に置く



北緯車

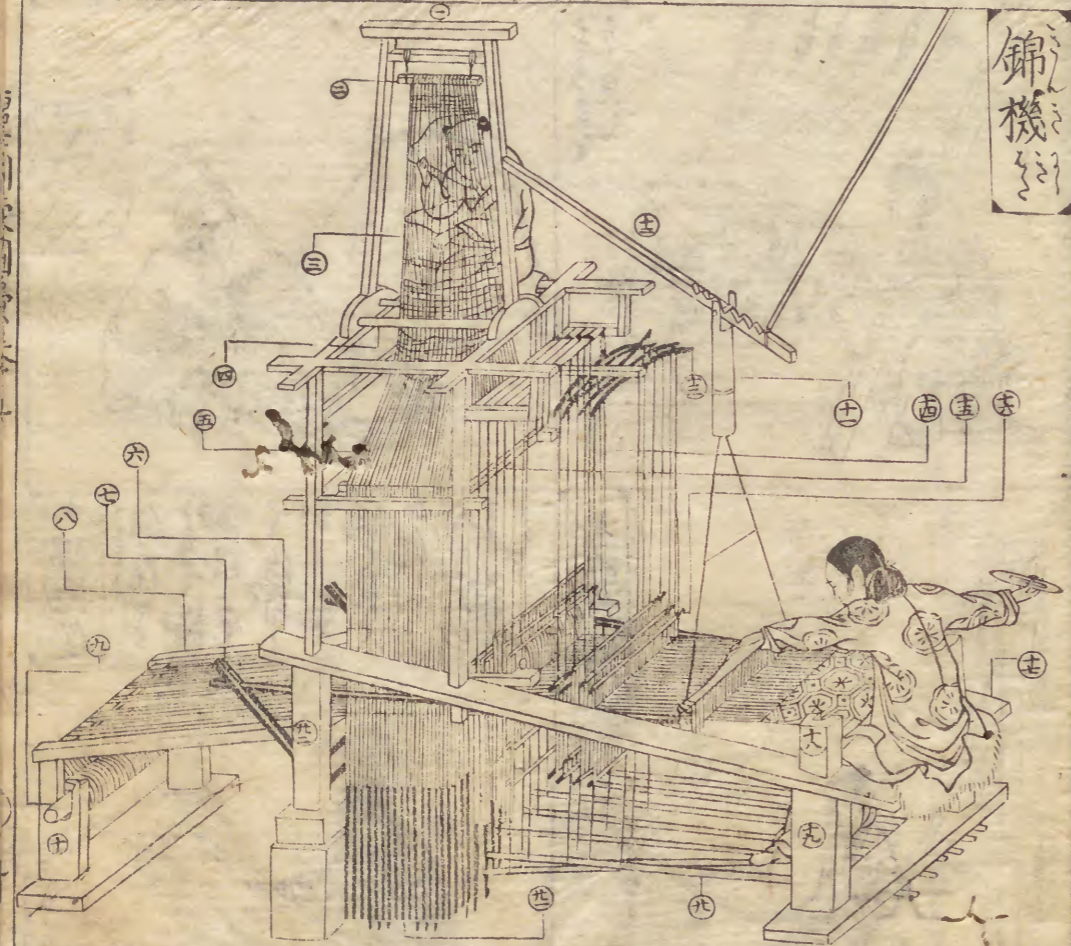
緯車は
南北の
緯あり
南緯ハ
訓蒙
圖景
の巻
故に
北緯と
ちる



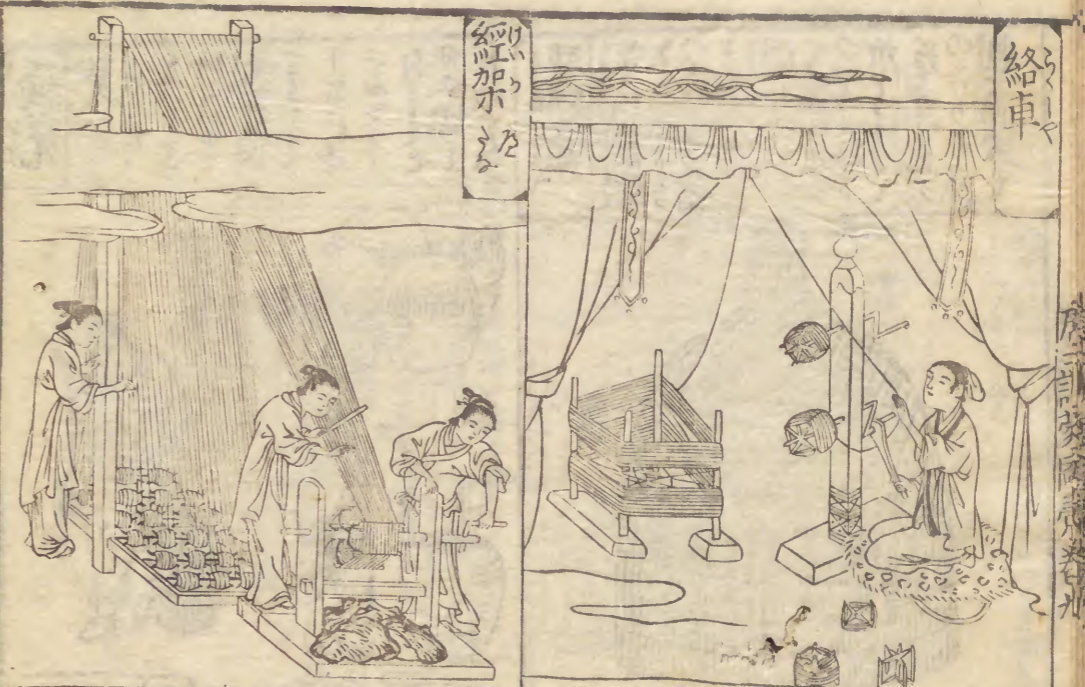
唐土訓蒙圖景卷九

機具相文
 一 トリ井
 ニ モンキ
 三 スンホ
 四 ロクノ
 五 ヘダナ
 六 キギダ
 七 ヒキエ
 八 シツギ
 九 キキリ
 十 ハジカミ
 十一 ヲサツリ
 十二 ヤリヲサ
 十三 ユニ
 十四 ムノリ
 十五 キバタ
 十六 フグセ
 十七 シキイタ
 十八 マキ
 十九 ヘツタ
 二十 フミダケ
 廿一 イワ
 廿二 ナカツク

錦機

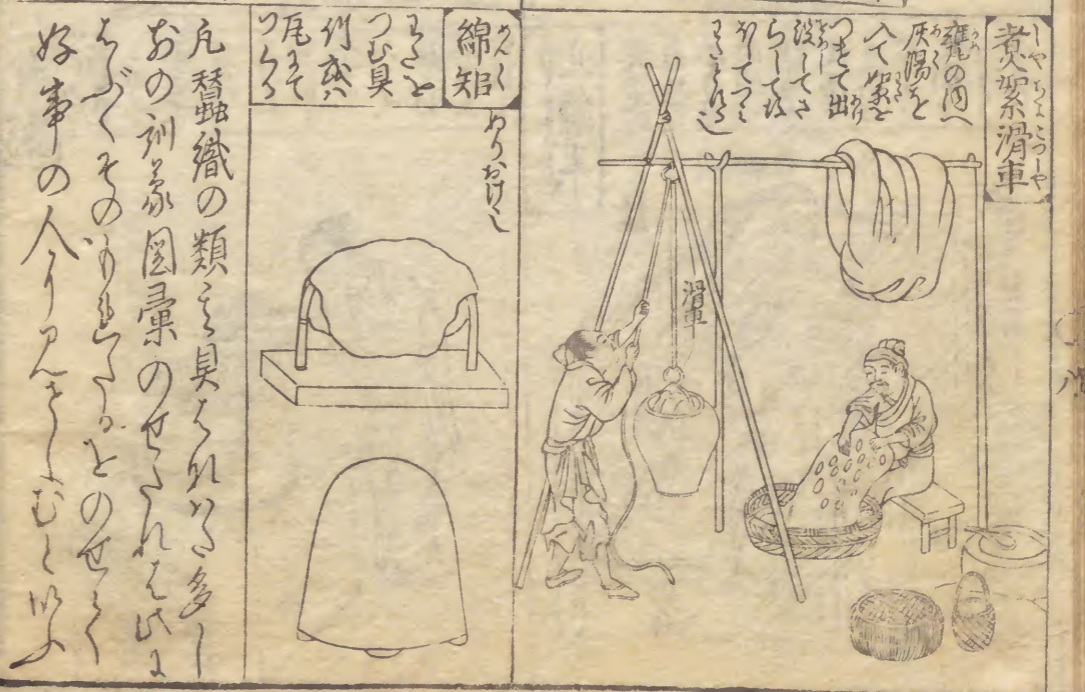


それ機は
 ひうき帝
 の后始て織
 一糸と
 の功と遂ま
 されりこの
 一のこ子身
 ちの機ハ人
 多く織織
 一及び代ハ
 器して二人
 と用の機
 を織よけ
 機と用の
 け機工と求
 人けお文乃
 和名よて名
 へ



経架

紡車



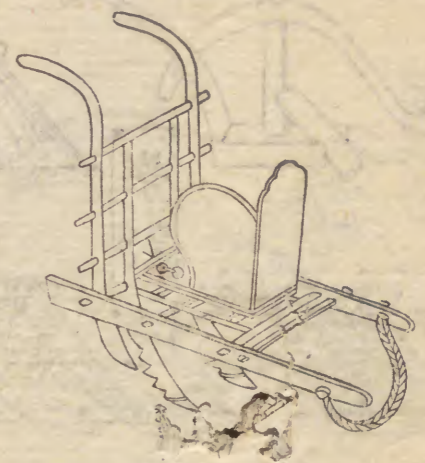
綿知

煮紫滑車

凡 蠶織の類々具々れり多
 おの利家図彙のせりんこび
 らぐそのりもとのせり
 好事の人へてよびと

篋車

具



曬盤

瓠種

種籾



蓐馬

具



秧馬

具



田漏

農家家用
其制壺内
刻むに印
かき壺水
を注ぐ水
を注ぐ水
を注ぐ水
を注ぐ水



喬杆



夾

稲夾



攢籾



竹師



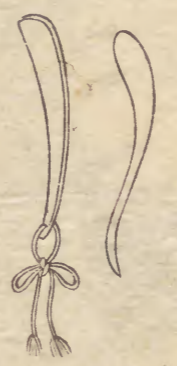
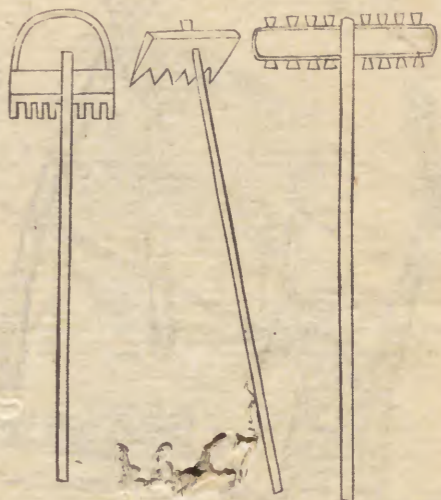
穀把

小把

耘把

麥鈿
掘刀

鋤

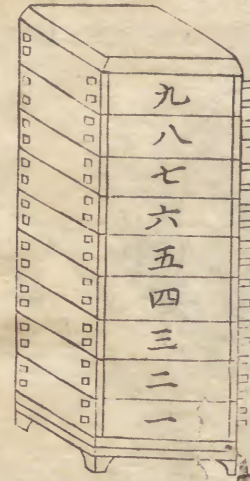


麥
綽

夾
龍

積
苜
切

穀
匣



竹楊杓

禾鉤

搭爪

呼鞭

穀盅

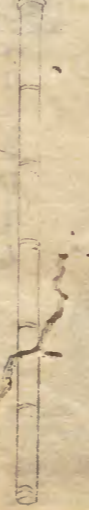
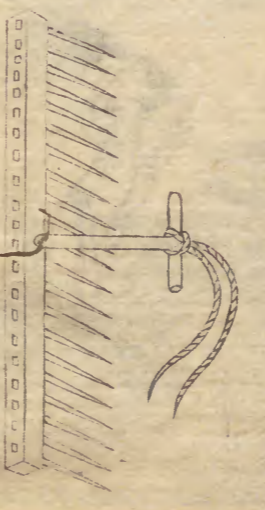
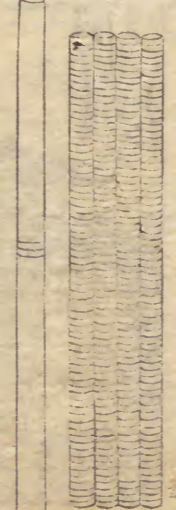
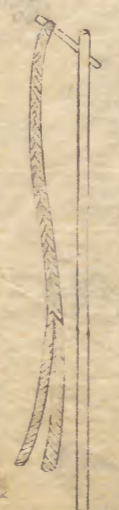
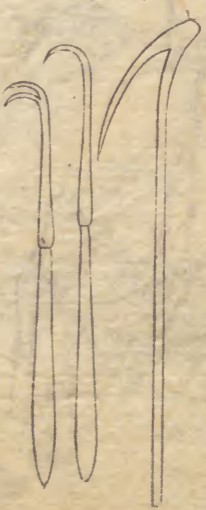
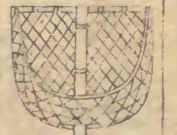
秧彈

拖把

倒

抄竿

上同



木と木杖と一様と扱
扱と一様と扱と一様と扱

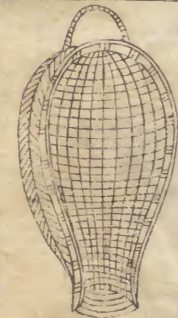
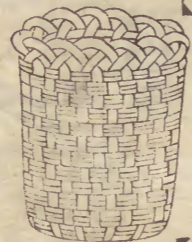
筥

篇

籃

篋

籃

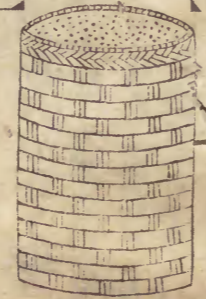


團

籠

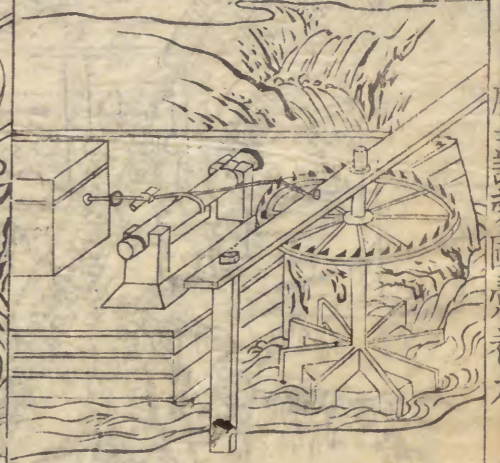
籊

漉米藪



水打蘿

此具水一
隨て用の
麵と餅を
人力の及
びざるす
技巧下の
水排と
同し



水排

水勢よて
穴と喰ひ
水たらし
制ハ固は
まへし



水碓

連棧碓と
水碓
かうす
晋の石崇
の家水碓
十區り
あり



水碓



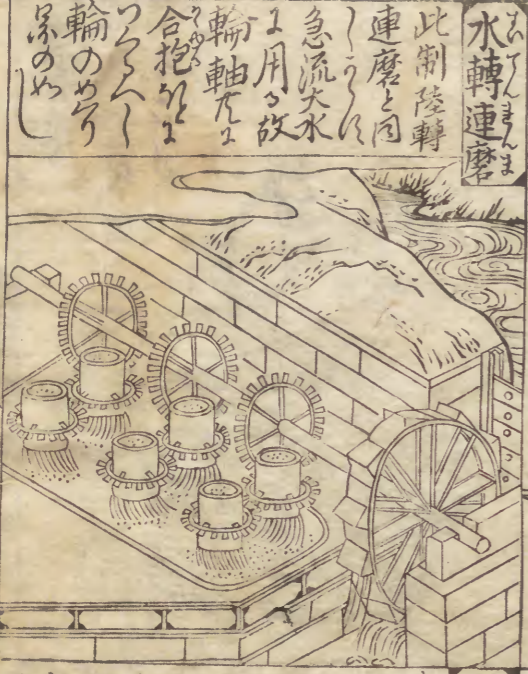
水磨

此磨と石の
激しき水と
まて轉まへ



水轉連磨

此制陸轉
連磨と同
急流大水
を用故
輪軸を
合抱し
つる
輪のち
深め



龍石圖

礪穀器
穀設と
去器
竹を編
まき
馬と轉
れん
カと
さぬ



石輾

石輾
つる
幹軸を
まて石
おほの
おほの
おほの



海青輓

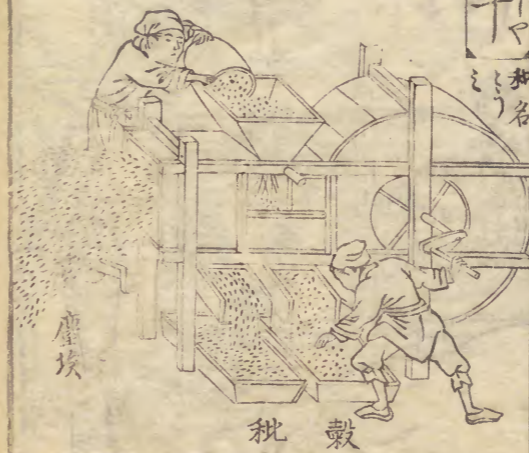
此名執鳥
の松比心
い



唐土訓蒙爾景卷九

扇米風車

和名

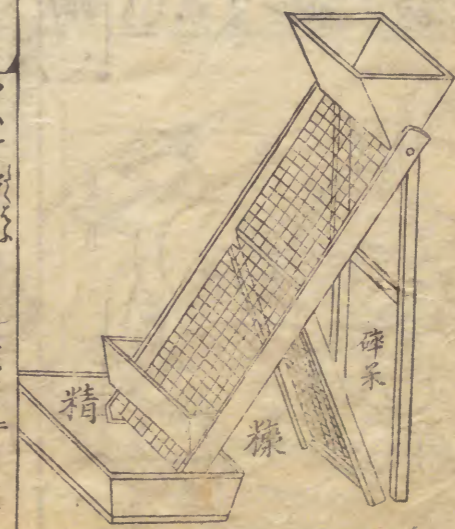


塵埃

糶

颯風飛

和名せんこう



儻

米と貯つたは漢書曰揚靡無
儻石之儲晋劉勰家無儻石
之儲一應劭曰存人名體受二解

